

全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 国営武蔵丘陵森林公園モデル撮影会

撮影日 2024年11月10日

審査日 2025年01月04日

審査員: HARUKI先生



金賞
「秋に想う」
石川 玲 様
モデル 彩兎宇 すず

審査員：HARUKI先生 講評

11月の撮影ということで、この季節らしい秋の色味と澄んだ空気感を写し取った傑作といえます。モデルさんのトラディショナルな衣装も清楚で“良いとお嬢様風”（笑）で万人受けしやすい王道のポートレートの部類に入ると思います。大口径望遠レンズでの開放絞り撮影での柔らかな表現というのも今回の場所やモデルさんとの組合せでのシチュエーションではとても理に適った選択だったとも言えます。決め手はモデルさんの持つ透明感が好印象となりました☆



銀賞
「Just The Way You Are」
門間 正之 様
モデル 瓦林 桜

審査員：HARUKI先生 講評

曲線を描いた石の階段を背に静かに立ちつくす女性。彼女の瞳はカメラのレンズの奥を見つめているように見えます。手前の紅葉は未だ色づく前の緑色。夏と冬の間位置する秋という季節には彩り豊かな華やかな秋もあれば、物思いに耽るような静かな秋もあります。「Just The Way You Are」というビリー・ジョエルの曲名と同じ意味の“君はそのままが良いよ”っていうタイトルとリンクしていてバラッドが聞こえてきそうな表現となりました☆



銅賞
「Cute (キュート)」
片桐 研一 様
モデル 瓦林 桜

審査員: HARUKI先生 講評

ボーイッシュなベレー帽をかぶって颯爽と歩くような感じがアクティブで爽やかに映えています。銀賞作品と同じモデルさんですが、午前と午後で衣装が異なりモデルさんの表情にも違いが出ています。こちらはもう一つの「秋」のようですね(笑)。小道具の眼鏡のせいか眼鏡屋さんのCMみたいな明るい印象に仕上がりました。惜しいのはスキ越しに覗いたのも良いのですが、鼻と口元はもう少し見せてあげたかったところですね。



入選
「水、清らか」
小幡 大輔 様
モデル 優木 音葉



入選
「落ち葉の絨毯」
寺島 弘行 様
モデル 中森 蓮



入選
「眼差し」
田沼 靖信 様
モデル HIMECA



入選
「Zukin-chan」
井原 亮祐 様
モデル 彩兎宇 すず



入選
「あき、想う」
小島 壮介 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「秋の予感」
谷川 朗 様
モデル 中森 蓮



佳作
「あなたはこっちの」
高橋 敏之 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「ススキを従えて」
河村 徳助 様
モデル HIMECA



佳作
「小川のほとりで」
松岡 達雄 様
モデル 中森 蓮



佳作
「ぬくもりの中で」
巻口 敏也 様
モデル 彩兎宇 すず



佳作
「揺れる思い」
及川 昭夫 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「読書の季節」
岸野 孝博 様
モデル 瓦林 桜



佳作
「んっちゃ！」
北条 善久 様
モデル 瓦林 桜



佳作
「japanese silver grass」
星野 祐一 様
モデル 瓦林 桜



佳作
「もみじの中で」
若林 達夫 様
モデル 彩兎宇 すす



次点
「知的な午後」
湯原 章綱 様
モデル 瓦林 桜



次点
「空中浮揚（2）」
白鳥 政雄 様
モデル 本多 瑠花



次点
「翔んで埼玉」
小倉 良二 様
モデル 本多 瑠花



次点
「私のオーラが玉になり」
斎藤 貴生 様
モデル 優木 音葉



次点
「はいポーズ」
山田 栄一 様
モデル HIMEGA



次点
「思い」
内藤 勝之 様
モデル 優木 音葉



次点
「ふわり」
小野寺 基之 様
モデル 優木 音葉



次点
「シャボン玉」
金澤 義夫 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「指揮者のように」
逢坂 誠俊 様
モデル 優木 音葉



次点
「髪をすくひと」
村岡 雅之 様
モデル 中森 蓮



次点
「人形」
西村 文雄 様
モデル 優木 音葉



次点
「想い」
光井 貞二 様
モデル 中森 蓮

【シャープネス】

応募作品のプリントを見ているとコントラストとシャープネスを強調している方が目立ちます。曇天下でのフラットな光線状態で画面全体を引き締めたい時やモデルさんを背景から浮き立たせたいのは理解出来るのですが、特別な意図がある場合を除いてコントラストやシャープネスの使用はあまりお奨め出来ません。一番良くないのは輪郭が際立ってしまい不自然な仕上がりになったり、モデルさんの肌がカリッとなくなってしまいうので出来るだけ必要最小限に留めた方が良いかと思えます。ケースバイケースではありますがトーンカーブで少しだけ引き締めてみるという程度にするのはいかがでしょうか。今回は上位入賞作品の中にも含まれていたのでもっと気になりました。

HARUKI